

Game Prep Report

Fighters Intelligence Lab(非公式・個人分析プロジェクト)

試合情報

対戦カード	ファイターズ vs 東北楽天ゴールデンイーグルス
試合日	2026年7月25日(ホーム)
球場	エスコンフィールドHOKKAIDO
予想先発	加藤貴(F) vs 未定(E)
データ更新日	2026年7月23日

Executive Summary

西武とのビジター2連戦(1勝1敗)を終え、エスコンフィールドに戻っての楽天3連戦。今季の対楽天は8勝6敗0分、本拠地エスコンでは4勝1敗0分と地元では特に相性が良い。7/23に11得点で打線が上向いた勢いをホームで持続できるか。先制時勝率.667のチームらしく、本拠地の後押しを受けて先手を取る展開に持ち込みたい。

Key Metrics

指標	数値	評価	補足
対楽天	8勝6敗0分	Good	今季の対戦成績
エスコンでの対楽天	4勝1敗0分	Good	本拠地で相性良好
直近5試合勝敗	3勝2敗0分	Watch	7/18~7/23
先制時勝率	.667	Good	先制時 34勝17敗0分
前日の得点	11点	Good	7/23に打線爆発
マックスカー 本塁打	12本	Risk	楽天打線最大の長打脅威
辰己 打率	.288	Risk	巧打の中軸(OPS.807)
通算成績	52勝42敗0分	Good	勝率0.553

Matchup Focus

Fighters	東北楽天ゴールデンイーグルス
----------	----------------

打線状態: 7/23に11得点で爆発。波はあるが上振れ時の破壊力は高い。	打線状態: マッカスカー(12本・OPS.878)と辰己(打率.288・OPS.807)が中軸。長打と巧打を併せ持つ。
先発投手状態: 未発表。ローテ的には加藤貴(前回7/15)や細野(前回7/18)が中6〜7日で候補。	先発投手状態: 未発表。
ブルペン状態: 7/23は北山が完投級で休養十分。勝ちパターンは万全。	チーム状態: 対ファイターズは今季6勝8敗。エスコンでは特に分が悪い。
最近の試合傾向: 直近5試合3勝2敗0分。先制時勝率.667。本拠地エスコンでは対楽天4勝1敗0分。	最近の傾向: ビジターでは長打頼みになりやすく、先制されると追う展開に苦しむ。

Key Players

区分	選手	直近成績	ポイント
Fighters	レイエス外野手	20本超 / OPS.950前後	4番として攻撃の軸。本拠地での長打に期待。期待: 序盤の得点機での勝負強さ。
Fighters	万波中正外野手	7月 好調継続 / 前日も猛攻に貢献	打線爆発の中心。ホームでも長打力を発揮したい。期待: 中盤の追加点でリードを広げる一打。
Opponent	マッカスカー外野手	12本 / OPS.878	楽天打線で最も長打が怖い。エスコンでも一発警戒。対策: 走者を置いて回さない。低め変化球で慎重に。
Opponent	辰己涼介外野手	打率.288 / OPS.807	巧打と長打を兼ねる中軸。出塁の起点。対策: 先頭での出塁を許さず、マッカスカーとの繋がりを断つ。

Risk Factors

リスク	レベル	説明	対応仮説
相手中軸の長打	Medium	マッカスカー12本・辰己9本。走者ありでの一発が失点に直結する。	2人の前に走者を溜めない。甘い球を避け、低めを丁寧に突く。
打線の波	Medium	7/22は3得点で延長負け、7/23は11得点と得点力の振れ幅が大きい。	先制して主導権を握り、上振れ日の破壊力を安定した勝ちにつなげる。
連戦・ローテのやりくり	Low	7/22延長でリリーフを消耗。7/23は北山完投で回復も、連戦の負荷は残る。	先発が長いイニングを投げ、勝ちパターンの登板過多を避ける。

Game Plan Hypothesis

今季の対楽天は8勝6敗0分、エスコンでは4勝1敗0分と本拠地で圧倒している。この地元優位を最大化するには、いつも通り先制して楽天を『追う展開』に押し込むこと。マッカスカー・辰己の中軸には走者を溜めずに勝負し、一発による失点を防ぐ。先制時勝率.667のチームらしく、本拠地の後押しを受けて主導権を握れば、貯金二桁を固められる。

Data Notes

使用データ: NPB公式サイト(npb.jp)の試合結果・個人成績、プロ野球Freakのインニングスコアを独自集計集計対象期間: 2026年3月27日～7月23日(全94試合)注意事項: 本レポートは非公式の個人分析であり、球団・NPBとは関係ありません。先発投手は未発表のため未記載。